

- 学会発表 (2022年1本,2021年1本,2020年3本,2019年3本,2018年3本,2017年5本,2016年2本,2015年度6本,2014年度8本,2013年度9本,2012年度4本,2011年度2本,2010年度4本 小計51本) 教員就任後以降を記載
- ・創造的課題解決は分析と統合の両方が必要, 日本創造学会第44回研究大会久留米大学(オンライン開催) 2022年11月
 - ・日本の中小製造企業の立ち位置別行動分析, 日本創造学会第43回研究大会久留米大学(オンライン開催) 2021年10月
 - ・イノベーション創成戦略の方針決定フェーズの肝 研究・イノベーション学会 第35回年次学術大会 (オンライン開催) 2020年11月
 - ・技術課題(B to B)解決には強制連想法が有効 日本創造学会第42回研究大会 産業能率大学(オンライン開催) 2020年11月
 - ・価値創造には目的と新価値の明確化が必須 日本システムデザイン学会第1回研究大会 早稲田大学(オンライン開催) 2020年9月
 - ・A Study on Innovation Creation by Value Analysis,14th International Conference on KICSS, HOA SEN University Vietnam 2019 November (共著 櫻井敬三 高橋文行)
 - ・価値分析の創始者マイルズ思想の正しい解釈 -Blast Create Refine を一気にこなす- 研究・イノベーション学会 第34回年次学術大会 政策研究大学院大学 2019年10月
 - ・真の消費者の欲求を満たすための新価値分析法 日本創造学会第41回研究大会 北陸先端科学技術大学院大学 2019年9月
 - ・ハノイ・ハイフォン地域の工業団地と日本・ベトナム中小製造企業比較 研究・イノベーション学会 第33回年次学術大会 東京大学 2018年10月
 - ・イノベーション創成の研究開発マネジメント戦略 研究・イノベーション学会 第33回年次学術大会 東京大学 2018年10月
 - ・日本の特徴ある技術力を有する中小製造企業の特性 日本創造学会第40回研究大会 大阪国際交流センター 2018年9月
 - ・課題解決力強化のための大学生対象のAL活動 研究・イノベーション学会 第32回年次学術大会 京都大学 2017年10月
 - ・アクティブラーニングへのVE適用 SAVE International & SJVE Conference 2017 アルカディア市ヶ谷 2017年10月
 - ・円滑なグループ活動を推進するための導入研究 日本創造学会第39回研究大会 慶応義塾大学日吉キャンパス 2017年9月
 - ・技術革新を生み出す価値創造のマネジメント -ファジーフロントエンド段階の創造的活動(集団と個人)-,日本経営診断学会 関東支部研究報告会 法政大学市ヶ谷キャンパス富士見坂校舎 2017年6月3日
 - ・真の価値創造は企画立案から始まる -実証データ分析からの知見報告-,日本マネジメント学会 関東部会 立正大学品川キャンパス11号館 2017年5月27日
 - ・発明大賞受賞の中小製造企業の共通項分析,研究イノベーション学会,第31回年次学術大会,2016年11月(共著 吳輝強・櫻井敬三)
 - ・創造性テストの心拍計による自律神経計測測定,日本創造学会,第38回研究大会,2016年11月(共著 櫻井敬三・渡邊恵)
 - ・企業内MOT教育で学ばせるべきことは何か, 日本経営工学会,2015秋季研究大会,2015年11月
 - ・産学連携のマネジメントとベンチャーの円滑な関係性構築, 日本マネジメント学会, 第71回全国研究大会, 2015年10月
 - ・大手製造企業の企業内技術者へのMOT取り込み教育の変遷と今後のあるべき姿, 研究・技術計画学会, 第30回年次学術大会, 2015年10月
 - ・乗用車の機能的価値と意味的価値の購入時の日中比較研究, 研究・技術計画学会, 第30回年次学術大会, 2015年10月(共著 蘇哲・櫻井敬三・于金)
 - ・組立メーカーと部品メーカーの取引関係における技術力蓄積のメカニズムに関する考察, 第30回年次学術大会, 2015年10月(共著 佐藤政行・櫻井敬三)
 - ・創意工夫を伴うグループ討議における「教える」と「気づき」の関係性, 日本創造学会,第37回研究大会,2015年10月
 - ・中小製造企業の独自の競争力獲得のための要件, 日本マネジメント学会,第70回全国研究大会, 2014年11月
 - ・伝統技術を引き継ぐ中小製造企業の経営マネジメント,日本経営工学会,2014秋季研究大会,2014年11月
 - ・中小製造企業の技術醸成期における有効な情報源分析, 日本創造学会,第36回研究大会,2014年10月

- ・トヨタ協会の研究部会活動の変遷, 日本創造学会,第 36 回研究大会,2014 年 10 月 (共著 佐藤政行・櫻井敬三)
- ・中小製造企業の独自技術の醸成と事業化の実証研究 (その 1) 技術醸成期における有効な行動, 研究・技術計画学会 ,第 29 回
年次学術大会, 2014 年 10 月
- ・中小製造企業が中国で成功するための必要条件, 研究・技術計画学会 ,第 29 回年次学術大会, 2014 年 10 月
- ・自動車産業における協会の変化, 研究・技術計画学会 ,第 29 回年次学術大会, 2014 年 10 月 (共著 佐藤政行・櫻井敬三)
- ・Harmony with the Functional Value and the Non- Functional Value in the New Market Creation of the Age of Globalization
The 13th International symposium of Mongolia and Japan 2014 August
- ・日本の製造業の過剰な顧客優先主義の根源的要因は何か, 研究・技術計画学会 ,第 28 回年次学術大会, 2013 年 11 月
- ・日本の中国進出企業が要求する品質水準に見る MOT 観点での考察, 研究・技術計画学会 ,第 28 回年次学術大会, 2013 年 11 月
- ・中国に進出した日系企業 (輸送・家電) の消極的技術リスク回避戦略, 研究・技術計画学会,第 28 回年次学術大会,2013 年 11 月
- ・中国地場企業 (インフラ産業分野) の強かな技術獲得戦略, 研究・技術計画学会 ,第 28 回年次学術大会, 2013 年 11 月
- ・用途テストの柔軟性評価方法の綿密化,日本創造学会,第 35 回研究大会,2013 年 10 月
- ・創造性の能力評価を用いたイノベーター診断法,日本経営診断学会,第 46 回全国大会 2013 年 10 月
- ・Why Would the Excessive Quality Happen in Japan,ICPM2013 Eastern International University Vietnam September
- ・ものづくりの本質を見失った日本メーカーの再興の可能性,経営行動研究学会, 第 23 回全国大会 2013 年 8 月
- ・イノベーションを実現する創造性因子とは何か,経営情報学会,2013 年度春期全国研究発表大会,2013 年 6 月
- ・日中インフラ産業中小企業の技術獲得戦略取り組み姿勢, 研究・技術計画学会 ,第 27 回年次学術大会, 2012 年 10 月
- ・新たな非言語創造性テストの開発と評価, 日本創造学会,第 34 回研究大会,2012 年 10 月
- ・得意技・人格特性と創造性テスト結果の関係, 日本創造学会,第 34 回研究大会,2012 年 10 月
- ・技術革新をし続ける企業の技術経営人材に求められる必要能力,経営行動研究学会,第 22 回全国大会,2012 年 8 月
- ・革新技術を生み出すエンジニアのスキルとその育成, 日本創造学会,第 33 回研究大会,2011 年 10 月
- ・日本企業は新興国市場で事業を成功することができるか, 研究・技術計画学会 ,第 26 回年次学術大会, 2011 年 10 月
- ・学生の創造性評価に関する研究 , 日本創造学会 , 第 32 回研究大会,2010 年 10 月
- ・大学入試前後の創造性評価値の変化特性,研究・技術計画学会 ,第 25 回年次学術大会, 2010 年 10 月
- ・革新性・創造性に関する経営診断の一考察 , 日本経営診断学会 , 第 43 回全国大会 , 2010 年 9 月
- ・ブレイクスルーを実現する技術開発新製品の情報収集及びアイデア発想活動,日本企画計画学会 , 世界会議 , 2010 年 8 月